

(日本看護協会主催)

## 医療安全管理者養成研修開催要領

[研修分類:] V看護管理者とこれから看護管理を担う人々への看護管理能力向上を支援する研修

①看護管理能力向上を意図した研修(看護管理者向け診療報酬算定関連含む)

主催 公益社団法人 日本看護協会

- 1 目的 所属施設及び地域で医療安全管理業務を実践できる
- 2 目標 (1)安全管理業務を遂行するために必要な以下に関する知識・技術を習得する  
医療安全の基礎知識／安全管理体制の構築／医療安全についての職員研修の企画・運営／  
医療安全に資する情報収集と分析、対策立案、フィードバック、評価／医療事故発生時の対応／  
安全文化の醸成  
(2) 演習を通して実践方法がわかる
- 3 開催日 第1回：2024年11月30日 (1日間)  
第2回：2024年12月7日 (1日間)  
第3回：2024年12月14日 (1日間)
- 4 開催会場 公益社団法人 北海道看護協会  
〒003-0027 札幌市白石区本通17丁目北3番24号
- 5 定員 各50名
- 6 受講対象 以下の3要件をすべて満たす者  
(1)医療安全管理者または1年以内に医療安全管理者になる予定の者  
(2)上司の推薦があること  
(3)2024年度に開催する研修プログラムを全時間受講可能なこと  
上記要件のほか、看護師長に相当する職以上にあることが望ましい
- 7 修了証 本研修は、厚生労働省に承認を得た診療報酬加算の要件を満たす内容となっており、インターネット配信研修(35時間)と演習を含む集合研修(5時間)を全て受講した者に、日本看護協会会長名で修了証を発行します。遅刻・早退は認めません。
- 8 受講方法 オンデマンド講義(35時間)をすべて受講後、北海道看護協会で集合研修(5時間)を受講する。
- 9 携帯品 会場で昼食は販売しておりませんので、各自昼食をご持参ください。
- 10 個人情報  
の取り扱い 研修会申込で得た個人情報は、研修会に伴う書類作成・発送のほか、研修受講履歴を会員専用ページ「キャリアース」で会員本人が参照できるよう、会員情報管理体制「ナースシップ」へ連携するために利用します。なお、研修会の事前課題等で知り得た情報は、講師に情報提供することがありますのでご了承ください。また、研修会での利用目的の範囲を超えて取り扱うことはありませんが、この範囲を超える場合には、本人の同意を得た上で取り扱います。
- 11 連絡先 公益社団法人 北海道看護協会 事業部教育課 TEL：011-861-3273  
※遅刻・欠席の際は、必ずこちらまでご連絡ください。
- 12 その他 駐車場利用を希望される方は、駐車場申込書を、FAXでお申し込みください。  
申込締切：10月30日(水)

## 13 プログラム

時間	内容	講師
9:50～	オリエンテーション	
10:00～11:00 (講義)	安全文化の醸成 1. 安全文化と4つの下位文化 2. 安全文化の醸成に向けた活動	岡林 靖子 (北海道大学 病院 副病院 長・看護部長)
11:00～15:00 (昼休憩を含む) (演習)	<p>【目的】</p> <p>集合演習により以下1～3に沿った実践的な学びを深める</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療機関内において、医療事故事例やヒヤリ・ハット事例の報告と共有を効果的にするための体制の整備</li> <li>2. 医療事故の発生予防や再発防止を効果的にする体制の確立</li> <li>3. 発生予防や再発防止を目的とするため、医療事故やヒヤリ・ハットの報告者を非難しない組織文化の醸成</li> </ol> <p>【演習のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病院の状況(組織文化など)や医療事故発生の状況設定事例に基づき行う</li> <li>・現場で医療安全管理者業務に携わるファシリテーターを依頼し演習を進める</li> </ul> <p>【演習の実際】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①講義および演習の導入(20分)</li> <li>②グループワークを行う(90分程度) <ul style="list-style-type: none"> <li>・状況設定をもとに医療安全の体制整備や組織文化の醸成の方法を検討する</li> <li>・受講者は医療安全管理者という設定とし、これまでのすべての講義の知識・技術を統合して、解決方法や自身の行動を考えられるようにする</li> </ul> </li> <li>③全体発表 <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ討議の結果を発表し、質疑応答等を交えて全体で共有する</li> <li>・医療安全管理者として安全文化醸成のための行動のポイント(模範解答)を学ぶ</li> </ul> </li> <li>④まとめの講義</li> </ol>	
15:00～16:00 (講義)	患者、家族の医療への参加 1. 患者、家族の医療への参加方法 2. 遺族の立場で考える医療安全	

《演習支援者》 旭川医科大学病院 医療安全管理者 中村 智美